

生と死のコーナー関連行事

講演会

地域でことばを失った人を支える — 失語症者の在宅訪問ケア

講師 言語聴覚士 平澤 哲哉氏

言語聴覚士(ST=Speech Therapist)とは、脳卒中などの病気や交通事故、発達上の問題などによる言語・聴覚の障害のため、ことばによるコミュニケーションに問題がある人に対し、専門的な訓練・指導を行い機能回復や障害の軽減を図る専門職です。

平成11年(1999年)に第1回国家試験が実施され、国家資格になってまだまもない専門職です。

日時

平成16年

10月20日(水) 18:00~19:30

会場

山梨大学医学部 臨床大講堂

(玉穂キャンパス)中巨摩郡玉穂町下河東1110

入場無料

ご案内



※駐車場が手狭なため乗り合わせておでかけください。

講師紹介

言語聴覚士(ST)

ひらさわ てつや

平澤 哲哉氏



1961年山梨県牧丘町生まれ。1987年STとして初めて病院勤務。山形県、山梨県の病院勤務後、2003年病院を退職。現在地域における失語症者の訪問ケアを行っている。

著書「失語症者、言語聴覚士になる ことばを失った人は何を求めているか」(雲母書房、2003)。

NHK教育テレビ「きらっといきる」(2004年5月1日放送) に出演。

平澤さんのHP

<http://www.kcnet.ne.jp/~denden/>



問い合わせ先

附属図書館医学分館 055-273-9357

(医学情報グループサービス担当)

<http://www.yamanashi-med.ac.jp/~toshohome.html>

主催

山梨大学附属図書館医学分館